

リコーグループがどのように環境経営を推進しているのかを、その全体像(3本柱と基盤)に基づき、説明しています。

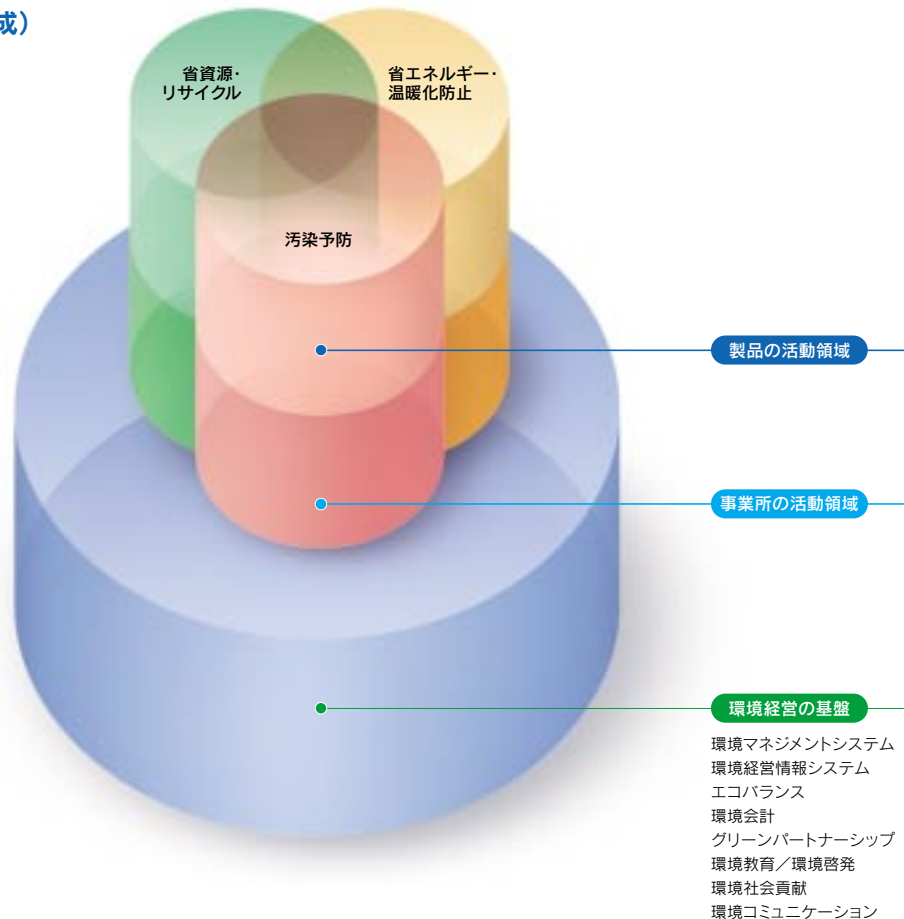
このページでは、報告書の全体構成、2004年度の社会からの主な評価や掲載内容が簡単にご確認頂けます。

リコーグループの 環境経営の全体像(報告書の構成)

● 報告書の構成

この報告書は、リコーグループの環境経営の全体像と同じ構造になっています。

まず「環境経営の考え方」から始まり、「製品に関する取組み(3本柱)」「事業所に関する取組み(3本柱)」「環境経営の基盤」について説明しています。



■ 2004年度の社会からの主な評価

「日経環境経営度調査第1位」にランク

リコーは、日本経済新聞社の第8回「環境経営度調査」の製造業部門で、4年ぶりに第1位にランクされました。資源循環、製品対策をはじめ、全7項目でバランス良く評価されました。(2004年12月6日)

ドイツ・エコム社の格付で世界第1位にランク

リコーは、ドイツのエコム社が実施した2004/2005年度「企業の社会的責任」格付において世界第1位にランクされました。(IT/コンピュータ、周辺機器、事務用電子機器部門)(2005年2月2日)

省エネルギー月間表彰「経済産業大臣賞」受賞

リコー御殿場事業所が、省エネルギー月間表彰において、省エネルギー事業所として最高賞にあたる「経済産業大臣賞」(電気部門)を受賞しました。(2005年2月9日)

トーマツ審査評価機構の「環境格付」でAAAの評価

リコーは、トーマツ審査評価機構が、501社を対象に、2004年度版の環境報告書とホームページの情報をもとに実施した「環境格付」で、最上位のAAAの評価を受けました。(2005年3月24日)

エコ・ファンド、SRIファンド等への組み入れ

日本においてリコー株式会社は10以上のエコ・ファンド、SRIファンドに組み入れられ、運用されており、モーニングスター社会的責任投資株価値指数にも2003年の創設時以来組み入れられています。また米国ダウ・ジョーンズ社によるDJSI(ダウ・ジョーンズ・サステナビリティ・インデックス)に3年連続で、英国フィナンシャルタイムズ社とロンドン証券取引所の合弁会社FTSEインターナショナル社によるFTSE4Goodグローバル・インデックスに2年連続で組み入れられました。



リコーグループの環境経営とは環境保全と利益創出の同時実現です

リコーグループの「環境経営」は、環境保全と利益創出の同時実現を意味します。これを「環境技術開発」「全員参加の活動」によって推進しています。「製品」および「事業所」、それぞれについて「省エネルギー・温暖化防止」「省資源・リサイクル」「汚染予防」の3つの領域で活動を展開し、その活動を効率的に推進するために「環境経営の基盤」を整備しています。

《参照ページ》

- ・私たちの目指す姿「Three P's Balance」… 7ページ
- ・循環型社会実現のためのコンセプト「コミットサークル」… 8ページ
- ・2010年長期環境目標と環境経営の推進… 9ページ
- ・2005年度からの環境行動計画… 11ページ

FOCUS 読者の皆様の関心が高い活動やリコーグループ独自の活動については、特集ページ「FOCUS」を設けました。

FOCUS 01

仕入先企業と進める化学物質管理

31ページ



FOCUS 02

海外生産拠点のごみゼロ活動

41ページ



FOCUS 03

販売会社の環境経営モデル構築

59ページ



FOCUS 04

環境ボランティアリーダー養成プログラム

69ページ



製品の3本柱に関する取り組み

○製品開発の考え方

15ページ

2. 省資源・リサイクル

再生機のラインナップを拡充し、世界で再生複写機の販売を推進しています。

23ページ

1. 省エネルギー・温暖化防止

世界で初めて高速複合機でも省エネモードからの10秒復帰を実現。お客様の省エネに貢献しています。……

19ページ

3. 汚染予防

RoHS指令に準拠した製品を発売。製品に含まれる環境影響化学物質の全廃を推進しています。……

27ページ

事業所の3本柱に関する取り組み

1. 省エネルギー・温暖化防止

京都議定書よりも高い目標を設定し、生産ラインの省エネ化などを推進しています。……

33ページ

3. 汚染予防

生産事業所の土壌・地下水調査・改善に続き、非生産事業所の調査も行っています。……

43ページ

2. 省資源・リサイクル

世界の主要生産拠点をはじめ、非生産拠点でもごみゼロ活動を展開しています。……

39ページ

環境経営の基盤

環境マネジメントシステム

全社および事業所・部門ごとのPDCAを回し、全員参加の環境経営を推進しています。……

47ページ

グリーンパートナーシップ

お客様や仕入先企業とのパートナーシップで、効果的かつ継続的な環境保全を推進しています。……

57ページ

環境経営情報システム

環境経営の意思決定支援や、製品の環境配慮設計を推進する情報システムです。……

49ページ

環境教育／環境啓発

地球市民としての自覚と責任を持ち、自ら環境経営を推進できるよう、社員の意識啓発に取り組んでいます。…

61ページ

エコバランス

事業全体の環境負荷を把握し、長期目標や行動計画の策定に活用しています。……

51ページ

環境社会貢献

企業として、そして社員一人ひとりが、地球市民として活動しています。……

63ページ

環境会計

環境経営の評価や意思決定支援ツールとなる環境会計の確立を目指しています。……

53ページ

環境コミュニケーション

環境保全の環が広がるよう、真摯な姿勢でコミュニケーションを図っています。……

71ページ